

# Makita

ヒューマンハードウェアのマキタ

人の暮らしとすまいのために .....

## 取扱説明書

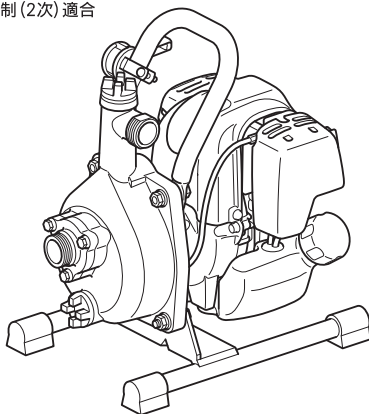
## エンジンポンプ

モデル MEW1050H

モデル MEW1060H



国内排出ガス  
自主規制(2次)適合



このたびはエンジンポンプをお買い上げ  
賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく  
お読みいただき本機の性能を十分ご理解  
の上で、適切な取り扱いと保守をしてい  
ただいて、いつまでも安全  
に能率よくお使いくださる  
ようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお  
手元に大切に保管してくだ  
さい。



# 目次

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 安全にお使いいただくために                | 4  |
| 仕様・性能曲線                      | 8  |
| 各部の名称および標準付属品                | 9  |
| 運転準備                         | 12 |
| ・ 運転を始める前に                   | 14 |
| 1. エンジンオイルの点検・補給             | 14 |
| オイル交換のポイント 1 《オイルゲージについて》    | 15 |
| オイル交換のポイント 2 《オイルをこぼしてしまったら》 | 16 |
| 2. 燃料の補給                     | 16 |
| 本機並びに補給タンクの保管方法について          | 16 |
| 燃料のポイント                      | 17 |
| 運転                           | 18 |
| 1. 始動方法                      | 18 |
| 2. 停止方法                      | 21 |
| 3. 運転方法                      | 22 |
| 作業終了後について                    | 22 |
| 点検と整備                        | 23 |
| 1. エンジンオイルの交換                | 24 |
| エンジンオイル交換のポイント               | 25 |
| 2. エアクリーナの清掃                 | 26 |
| 3. 点火プラグ（スパークプラグ）の点検         | 27 |
| 4. 燃料フィルタの清掃                 | 27 |
| 5. 各所ボルト、ナット、ビスの点検           | 28 |
| 6. 燃料パイプの交換                  | 28 |
| 7. 各部の清掃                     | 28 |
| 8. 故障の診断                     | 29 |
| エンジンが始動しない時には                | 30 |

## 国内排出ガス自主規制について



### 国内排出ガス 自主規制(2次)適合

このラベルは、(社)日本陸用内燃機関協会の小形汎用ガソリンエンジン排出ガス自主規制に適合していることを示しています。

(社)日本陸用内燃機関協会：陸用エンジン業界の健全な発展と最新技術の開発を図り、併せて関連する諸製造業界の発展にも寄与することを目的とする団体です。

本協会は、小形汎用ガソリンエンジンの排出ガス中の有害物質を低減する自主規制に取り組んでいます。

自主規制の内容については、下記のホームページにてご覧頂けます。  
<http://www.lemma.or.jp/>

# 安全にお使いいただくために

安全にご使用いただくために、シンボルマークや標語を次のような内容で使  
い合わせてあります。

## ⚠ 危険

：この表示はその警告に従わなかった場合、死亡又は重傷  
を負う可能性が高いと考えられる項目に使用します。

## ⚠ 警告

：この表示はその警告に従わなかった場合、死亡又は重傷  
を負う可能性が考えられる項目に使用します。

## ⚠ 注意

：この表示はその警告に従わなかった場合、けがや火傷を  
負う可能性が考えられる項目に使用します。

## 注

：製品および付属品の取り扱い等に関する重要な注意。

なお、**⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく  
可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってくだ  
さい。

またそれぞれの項目に危険を回避するための予防措置を記載していますので  
必ず守ってください。

安全のために、以下の注意事項を十分にご確認の上ご使用ください。

## ⚠ 危険

### 火災防止のために

1. 燃料補給は必ずエンジンを止めて行ってください。エンジンを運転し  
たまま燃料を補給すると燃料がこぼれて、エンジンスパークやマフラー  
などから引火することがあります。
2. タンクに燃料を入れすぎないようにしてください。燃料がこぼれた時に  
は十分に拭き取り、完全に乾いたあとにエンジンを始動してください。
3. エンジンのまわりは火気厳禁にしてください。燃料に引火、火災の危  
険があります。
4. 排気ガス出口付近には、燃えやすいものは近づけないでください。  
マフラーの排気口付近は高温になります。火災の原因になりますので  
ガソリン、マッチ、紙、わらくず等、燃えやすいものを近づけないで  
ください。
5. 平坦な安定した場所に設置してください。  
傾斜地では燃料タンクキャップやキャブレターから燃料がこぼれ、火  
災の原因になります。

## 警告

### 周囲の環境

1. ポンプは石や砂利のない安定した水平な地面の上で運転してください。
2. ポンプは建物から 1m 以上離して運転してください。
3. ポンプは引火性の物や燃えやすい物（紙くず、ボロ布、油、爆発物など）から十分に離れた所で運転してください。

## 警告

### 排気ガスに注意

エンジンの排気ガスは有毒です。屋内、トンネル内など通気の悪い場所で使用しないでください。

- ・ 通気の悪い場所で使用すると排気ガス中毒の原因になります。

## ⚠ 注意

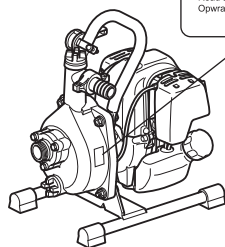
### その他の重要な注意事項

1. ポンプの運転中は回転部や高温部に触れぬようにご注意ください。
2. 使用方法の指導をしないで他人にポンプを運転させることは絶対にしないでください。
3. ポンプの緊急停止法と、ポンプ各部の機能をよく理解しておいてください。
4. 運搬時は燃料を必ず抜いてください。
  - ・ 燃料がタンクに残っていると燃料が漏れ、火災の原因になります。
5. 燃料ホースやジョイントがゆるんだり、燃料が漏れたりしていないか、十分に点検してください。
  - ・ 作業前にエンジンポンプの取扱説明書を読み、内容を認識してから、使用してください。
6. このポンプの使用目的は「水」に限定します。
7. ポンプに使用する水の温度は 5℃以上 40℃以下の範囲で使用してください。
  - ・ 範囲外で使用されますとポンプの破損につながります。
8. 各部の穴に、手や物を入れないでください。これらが巻き込まれた場合、ケガの原因となります。
9. 運転時は、送水ホースの先端を必ず固定してください。噴き出す水の勢いで送水ホースが動き回り、ケガの原因となります。
10. 運転時、呼び水プラグとドレンプラグは、しっかり締め付けて使用してください。
  - ・ これらの締め付けがゆるい場合、プラグが飛び出しケガの原因となります。
11. 熱くなっているマフラーやエンジン各部を触らないでください。
  - ・ 火傷の恐れがあります。
12. 幼児が触れないよう隔離措置をして、安全な場所で運転してください。
13. 始動時や運転中に高圧コードや点火プラグキャップに触れないでください。感電の恐れがあります。
14. 作業前の点検をしてください。
  - ・ 燃料パイプ等の取り付け部がゆるんでいないか、また損傷していないか十分確かめて、必要があれば締め付けや交換をしてください。燃料漏れは引火する危険があります。
  - ・ 各部のボルト、ナットのゆるみはないか確かめてください。各部の機能に異常が生じ危険です。
  - ・ 冷却ファンやリコイルスターターの周囲から、ゴミ、草およびその他のくず等は、取り除いてください。
  - ・ エンジンオイルは適量が入っているか確かめてください。オイル不足はエンジン焼き付きの原因となります。
  - ・ 運転する時の服装にご注意ください。前掛け、腰タオル等特に長い紐類は巻き込まれたり、引っ掛かる危険があります。
  - ・ 使用後は、子供の手の届かない場所に保管してください。

## ⚠ 警告表示

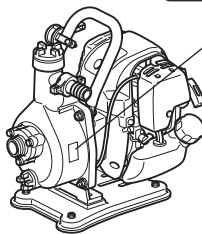
- 下記に示す場所に、注意ラベルが貼付されています。使用に際しては、十分に理解の上守ってください。
- 注意ラベルが見えにくくなった場合や、はがれた場合には貼りかえてください。

MEW1050H



⚠ 注意 WARNING  
取扱説明書をよく読んで安全に作業してください。  
Read and understand the Operator's Manual before operation.

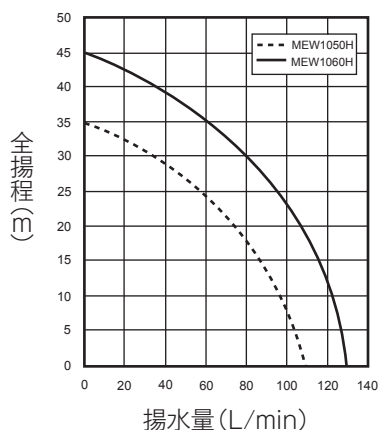
MEW1060H



⚠ 注意 WARNING  
取扱説明書をよく読んで安全に作業してください。  
Read and understand the Operator's Manual before operation.

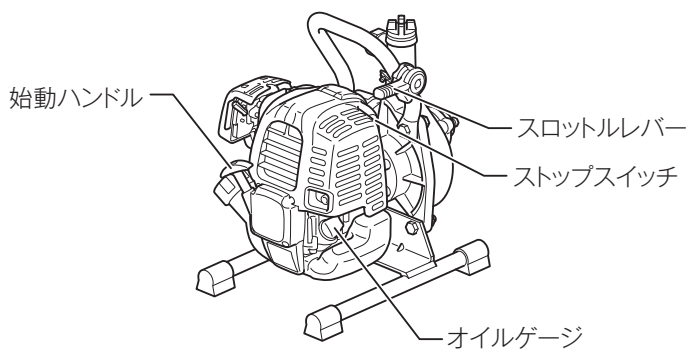
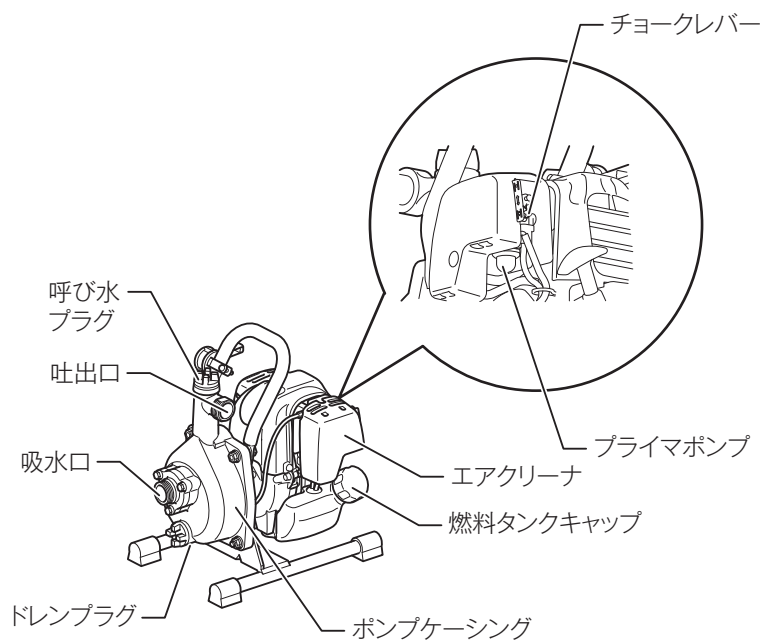
# 仕様・性能曲線

| 名称           |                    | MEW1050H                                              | MEW1060H        |
|--------------|--------------------|-------------------------------------------------------|-----------------|
| ポンプ          | 口径 mm              | 25                                                    | 25              |
|              | 全揚程 m              | 35                                                    | 45              |
|              | 吸水揚程 m             | 8                                                     | 8               |
|              | 吐出量 L/min          | 110                                                   | 130             |
| エンジン         | 型式                 | 空冷 4 ストローク直立単気筒<br>OHV ガソリンエンジン                       |                 |
|              | 排気量 mL             | 24.5                                                  | 33.5            |
|              | 使用燃料               | 自動車用ガソリン                                              |                 |
|              | 燃料タンク容量 L          | 0.5                                                   | 0.65            |
|              | 使用潤滑油<br>(エンジンオイル) | API 分類 SF 級以上の SAE10W-30 オイル<br>(自動車用 4 ストロークエンジンオイル) |                 |
|              | 潤滑油量 L             | 0.08                                                  | 0.1             |
|              | 気化器 (キャブレター)       | ダイヤフラム式                                               |                 |
|              | 点火方式               | 無接点マグネト式                                              |                 |
|              | 点火プラグ<br>(スパークプラグ) | NGK CMR6A                                             |                 |
|              | 始動方式               | リコイル式 (メカニカルデコンプ)                                     |                 |
|              | 潤滑方式               | 強制潤滑方式                                                |                 |
| 寸法 (長さ×幅×高さ) |                    | 327 × 231 × 319                                       | 356 × 234 × 336 |
| 質量 kg        |                    | 5.8                                                   | 7.3             |



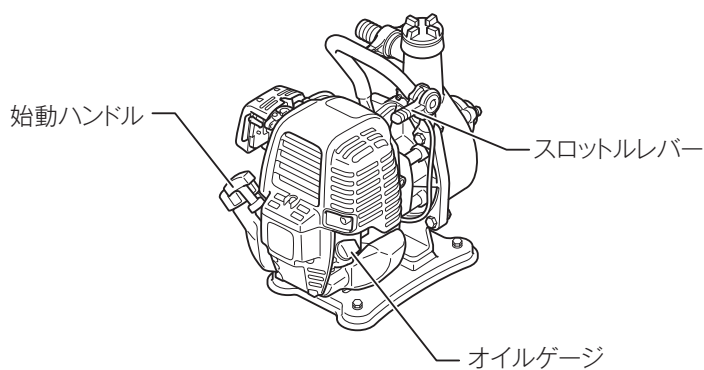
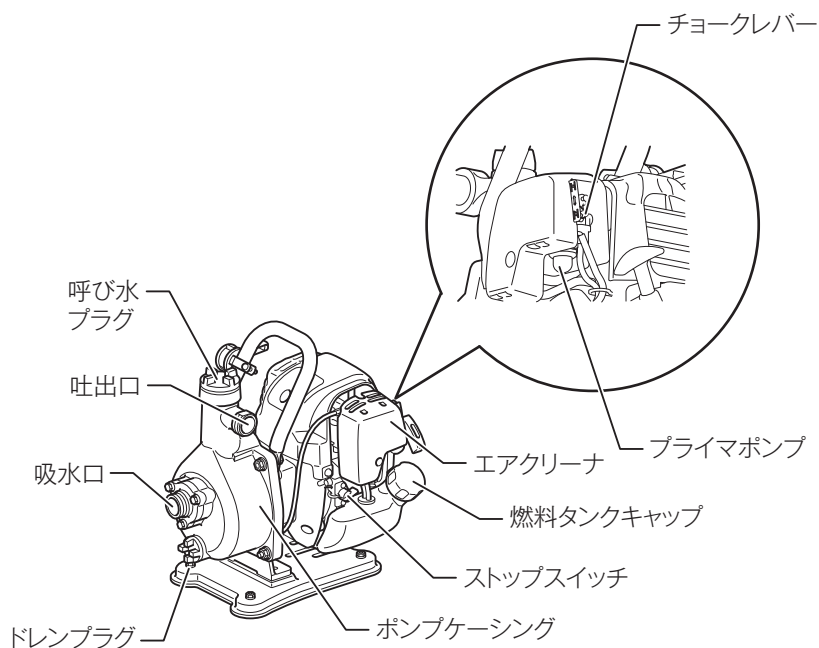
# 各部の名称および標準付属品

MEW1050H



# 各部の名称および標準付属品

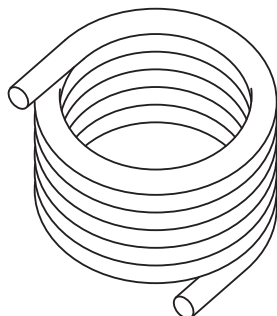
MEW1060H



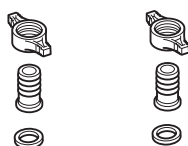
# 各部の名称および標準付属品

## 標準付属品

- ・ 吸水ホース



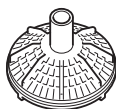
- ・ カップリング  
(2 セット)



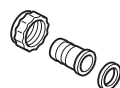
- ・ ホースバンドA  
(外径 1" ホース用 3 個)



- ・ ストレーナ



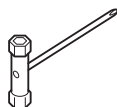
- ・ 水道ホース用カップリング  
(1 セット)



- ・ ホースバンドB  
(外径 3/4" ホース用 1 個)



- ・ ボックスレンチ



- ・ オイルボトル

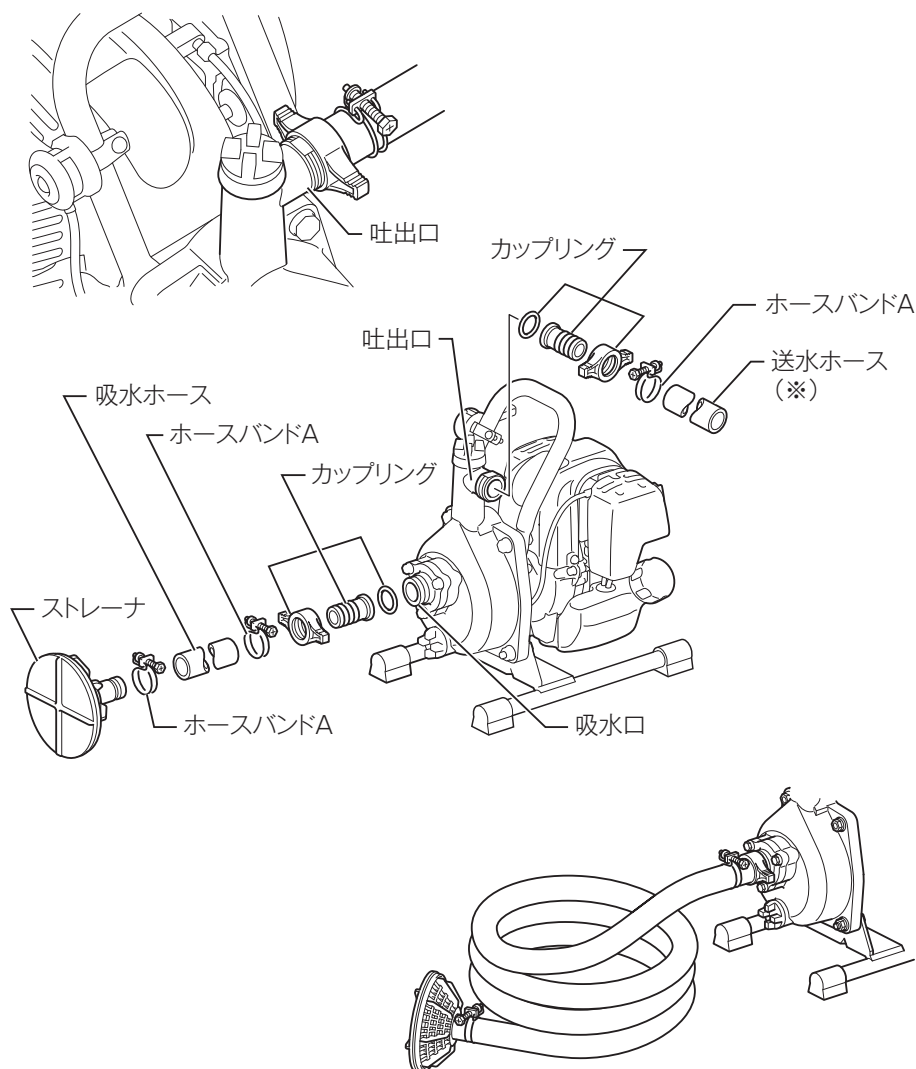


## 運転準備

- ・ 各作業は必ずエンジンを停止した状態で、平坦な安定した場所に設置して行ってください。
- ・ 本製品のネジや接続部にゆるみがないか確かめてください。

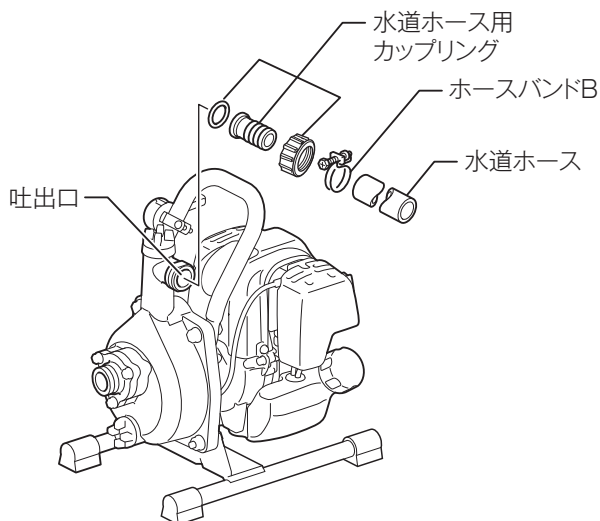
図のように吸水口、吐出口にカップリングを取り付けたあと、吸水ホース、送水ホース（※）を接続し、ホースバンド A で固定します。

※送水ホースは付属しておりません。販売店で買い求めください。



### 注

- ・ 送水ホースとして水道ホースを使用する場合は、水道ホース用カップリングとホースバンドBをセットで吐出口に接続してください。
- ・ 水道用ホースは使用口径・使用長さにあったものをホームセンター・農機具店などでお買い求めください。



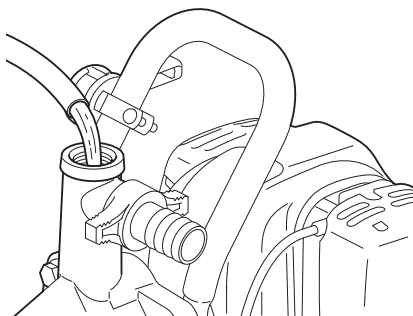
# 運転準備

## 運転を始める前に

### ⚠ 注意

- ◆ホースの接続には付属のカップリング、ホースバンドをご使用になり、ホースがはずれることのないよう確実に取り付けてください。
- ◆吸水ホース先端には、必ず付属のストレーナを取り付け、ホースバンドでしっかり固定してください。  
ストレーナを取り付けずに使用すると、ポンプ内にゴミなどが入り、故障の原因となります。

運転前に必ずポンプケーシング上部の呼び水プラグをはずし水を注入して、ポンプ内を満水の状態にしてください。



### ⚠ 注意

呼び水が不足すると、自吸能力が低下します。  
また、呼び水を入れずに運転すると、ポンプが破損する恐れがあります。

## 1. エンジンオイルの点検・補給

- ・ エンジンが冷えている状態で、以下の手順に従って行ってください。
- ・ エンジンを水平にし、オイルゲージをはずし、ゲージの上限・下限マークの範囲内にオイルがあるか点検してください。不足している場合（特に、オイルゲージをクランクケースに差し込んだ状態（ねじ込みしない）で、ゲージの先にしかオイルがつかない場合（図1）は、新しいオイルを図2の位置まで補給してください。
- ・ 参考として、オイルの補給は約10時間（燃料給油回数で、10回（10タンク）です。
- ・ 汚れや変色が著しい場合は交換してください。

< 推奨オイル > API 分類 SF 級以上の SAE10W-30 オイル（自動車用 4 ストロークエンジンオイル）を使用してください。

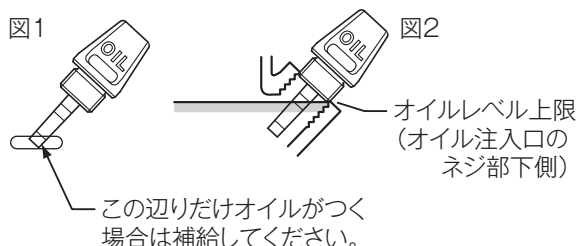
< オイル量 > 0.08L（80mL）MEW1050H  
0.10L（100mL）MEW1060H

## 注

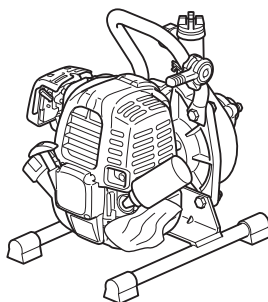
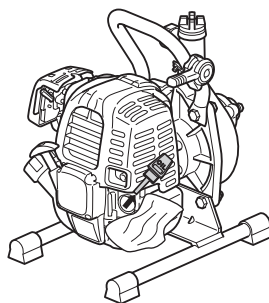
- ・ エンジンを正立以外の姿勢で保管されていた場合、エンジン内にオイルが回ってしまい補給の際、オイルの入れ過ぎになってしまいます。
- ・ オイル量が上限を超えますとオイル漏れによる汚損や白煙の原因となります。

### オイル交換のポイント 1 《オイルゲージについて》

- ・ オイル給油口まわりのゴミや汚れをとってからオイルゲージをはずしてください。
- ・ 取りはずしたオイルゲージは、砂・ゴミ等がつかない場所に置いてください。もし、これらがついたまま取り付けると、オイル循環不良やエンジン各所の摩耗を引き起こし、故障の原因となります。



- ・ エンジンを水平にし、オイルゲージをはずしてください。
- ・ オイルを注入口の口元まで補給してください。注入の時は、オイルボトルを使用してオイルを注入してください。
- ・ オイルゲージを確実に締めてください。締め付けがゆるいとオイルが漏れることがあります。



## オイル交換のポイント 2 《オイルをこぼしてしまったら》

- ・ 燃料タンクとエンジン本体の間にオイルをこぼしてしまった場合、そのまま運転すると、冷却風取り入れ口よりオイルを吸い込み汚れの原因となります。必ずこぼしてしまったオイルを拭き取ってから運転してください。

## 2. 燃料の補給

### ⚠ 警告

- ◆ 燃料の給油をするときは必ず次の事項をお守りください。引火・火災の原因になります。
- ◆ 火気のない所で行ってください。また、タバコを吸ったり、火気を近づけないでください。
- ◆ エンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。
- ◆ 燃料の入っている燃料タンクキャップを開けるときはゆっくり開けてください。内圧により燃料が飛び出すことがあります。
- ◆ 燃料をこぼさないように注意してください。こぼれたときは、きれいに拭き取ってください。
- ◆ 換気のよい所で行ってください。
- ◆ 燃料の取り扱いには十分注意してください。
- ◆ 燃料が肌についたり、目に入ったりすると、アレルギーや炎症の恐れがあります。体に異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。

### 《燃料の保管期間》

燃料専用容器に入れ、日陰で風通しのよい場所に保管した場合で 4 週間以内に使い切ることが目安です。専用容器でないとき、栓をしないうきなど、夏場では 1 日で劣化する場合があります。

### 本機並びに補給タンクの保管方法について

- ・ 直射日光を避け、できるだけ涼しい所に保管してください。
- ・ 自動車のトランクや車中に燃料を入れたまま放置しないでください。

### 《燃料について》

このエンジンは 4 ストロークガソリンエンジンです。自動車用ガソリン（レギュラーガソリン）を燃料として運転してください。

## 運転準備

### 燃料のポイント

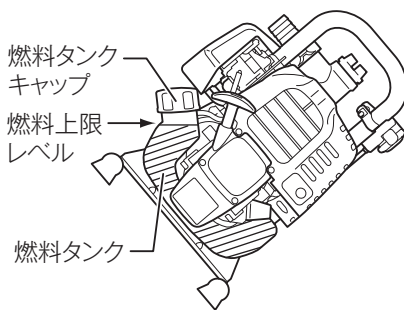
- ・ ガソリンにエンジンオイルを混合した、混合ガソリンを使用しないでください。カーボン堆積が多くなり、故障の原因となります。
- ・ 古い燃料を使用すると、始動不良の原因となります。

### 《給油について》

- ・ 燃料の給油は、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。

### 《使用ガソリン》 自動車用ガソリン

- ・ 燃料タンクキャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部との気圧差を無くします。
- ・ 燃料タンクキャップをはずし、給油口を上向きになるように傾けて空気を抜きながら補給します。(給油口一杯まで入れないでください。)
- ・ 補給後、燃料タンクキャップをしっかり締め付けてください。
- ・ 燃料タンクキャップは消耗品です。点検して異常が認められたら交換してください。(交換目安：2～3年)



## 1. 始動方法

### ⚠ 警告

燃料を給油した場所でエンジンを始動させないでください。少なくとも3m以上離れた所で始動させてください。

- ・ 引火、火災の原因になります。

エンジンの排ガスは有毒です。屋内、トンネル内など通気の悪い場所で使用しないでください。

- ・ 通気の悪い場所で使用すると排気ガス中毒の原因になります。

始動後、音、におい、振動などの異常を感じたら直ちにエンジンを停止し、点検を行ってください。

- ・ そのまま使用しますと、事故の原因になります。

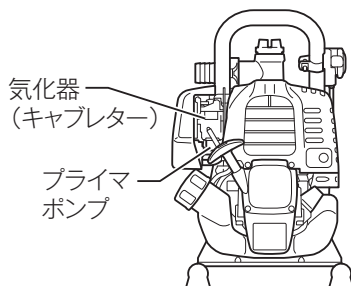
### ⚠ 注意

水底が泥・砂の場合、ポンプに吸水しないよう保護措置を行ってください。

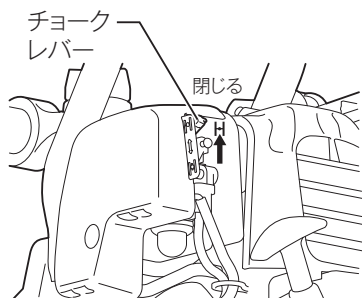
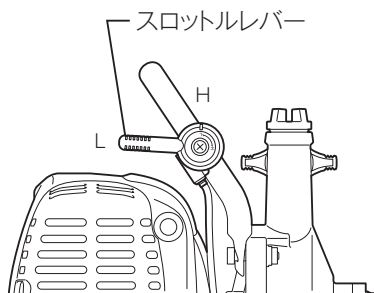
- ・ ポンプケーシング内が満水の状態であることを確認してください。
- ・ ストレーナ全体が水中にあることを確認してください。
- ・ 送水ホース先端に障害物等がないことを確認してください。
- ・ ストップスイッチを「ON」「I」側にしてください。

### 1) エンジンが冷えている場合、または燃料を給油した場合、

- ① 本機を平坦な地面に置いてください。
- ② 燃料がプライマポンプに入るまで、プライマポンプを繰り返し押ししてください。
  - ・ 7～10回程度で燃料がキャブレターに上がってきます。
  - ・ 押しすぎても必要以上のガソリンは燃料タンクに戻りますので、問題ありません。

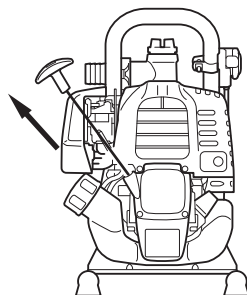


- ③スロットルレバーを低速側（L 側）にして、チョークレバーを「閉」の位置にしてください。



- ④エンジン部が動かないように片手で本機を押さえ、腰を十分に落とし、安定した姿勢をとってください。
- ⑤スタータハンドルを勢い良く引っ張ります。

- ・ ロープは一杯に引ききらないでください。
- ・ 引いたスタータハンドルは、その位置から手放さずに戻してください。

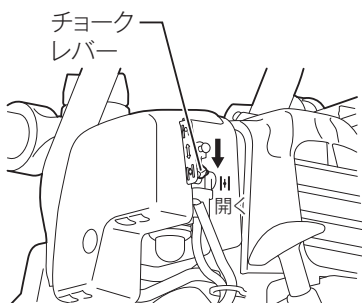


- ⑥エンジンが始動しましたら、チョークレバーを「開」の位置に戻してください。

- ・ チョークレバーはエンジンの調子を見ながら徐々に開き、必ず全開にしてください。
- ・ 寒い時またはエンジンが冷えている時は、急にチョークレバーを開くと、エンジンが停止する場合があります。ご注意ください。

- ⑦2～3分間低速で暖機運転をしてください。

- ⑧エンジンの回転数が安定し、スロットルレバーを低速から高速（L から H）に操作し、滑らかに加速するようにすれば暖機運転完了です。



## 注

- ・ 爆発音がしてエンジンが止まった場合、または始動したがチョークレバーを操作する前に止まった場合は、チョークレバーを「開」にし、再びスタータハンドルを引いて始動させてください。
- ・ チョークレバーを「閉」の位置にしたまま、スタータハンドルをいつまでも繰り返し引き続けると燃料を吸い込みすぎて始動しにくくなります。
- ・ 燃料を吸い込みすぎたときは、スパークプラグをはずしてスタータハンドルをすばやく数回引いて余分な燃料を出してください。また、スパークプラグの電極部を乾かしてください。
- ・ スロットルレバーを低速にしても、スロットルバルブがアイドリング調整ネジに当たるまで戻らない場合は、スロットルワイヤの引っ掛かりを確認してください。

## 2) エンジンが暖まっている場合

- ① エンジンを平坦な地面の上に置いてください。
- ② プライマポンプを数回、押してください。
- ③ スロットルレバーを低速側（L 側）の位置にして、チョークレバーが「開」になっていることを確認してください。
- ④ エンジン部が動かないように片手で本機を押さえ、腰を十分に落として安定した姿勢をとってください。
- ⑤ スタータハンドルを勢い良く引っ張ります。
- ⑥ エンジンが始動するまで繰り返してください。

## 注

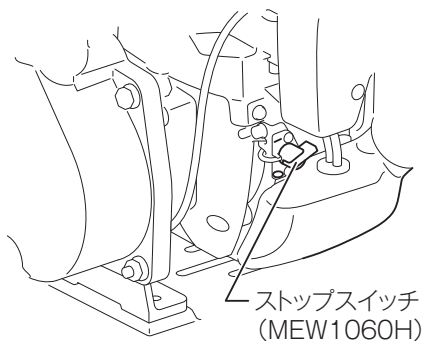
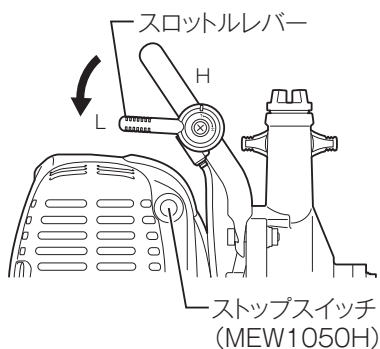
- ・ エンジンが暖かい状態（暖機時）で、エンジンがかかりにくい時は、スロットルを 1/3 程度開いて始動してください。

## 運転上の注意

エンジンを倒立姿勢で運転すると、マフラーから白煙が出る場合があります。

## 2. 停止方法

- ①スロットルレバーを低速側（L）にし、エンジン回転速度を最低速にします。
- ②ストップスイッチを OFF「O」側にし、エンジンを停止させてください。



## 3. 運転方法

### ⚠ 注意

ウォーターハンマーにご注意ください。

- ・ ポンプ運転中に送水ホースを踏んだり、送水側のバルブを急激に締め切ったりすると、瞬間的に大きな圧力がポンプケーシング内にかかります。これはウォーターハンマー現象と呼ばれ、ポンプ破損の原因となりますのでご注意ください。

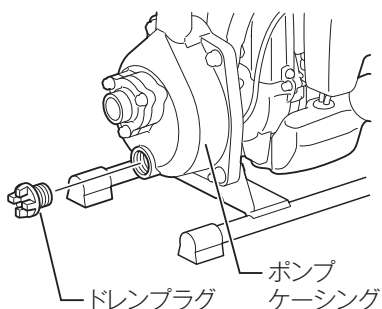
始動直後は、エンジン各部に十分に潤滑油がまわっていませんので、急激に回転を上げないようにしてください。

- ・ 不必要な高回転は、エンジンポンプの寿命を短くし、故障の原因となります。

- ・ スロットルレバーを徐々に高速側に操作し、必要な回転数にセットします。高速にすれば吸上水量が増えます。送水ホースから水が出ることを確認してください。

### 作業終了後について

- ① 運転後は必ずポンプケーシング下部のドレンプラグをはずして排水してください。
- ② 各部締め付け部のゆるみがないか点検してください。
- ③ ストレーナにゴミが付着していれば取り除いてください。



## ⚠ 注意

点検・整備するときはエンジンを停止させ、エンジンが冷えてから行ってください。また、プラグキャップをはずしてください。

- ・ 停止直後やプラグキャップをつけたままですと、やけどや不用意な始動による事故の原因になります。

点検整備後は必ずすべての部品を組み付けたことを確認してから運転を行ってください。

お買い上げいただきました製品をいつまでも調子よく長持ちさせ、安全にご使用いただくために、定期的に点検・整備を行ってください。

|         | 項目                   | 点検・整備内容                        | 記載ページ  |
|---------|----------------------|--------------------------------|--------|
| 使用前     | エンジン、ネジ、ナット          | 損傷と締まり具合の目視検査<br>全体的な状態と安全度の確認 | 28     |
|         | エアクリーナ               | 清掃                             | 26     |
|         | 冷却風通路                | 清掃                             | 28     |
|         | エンジンオイル              | 点検、補給                          | 14     |
| 給油後     | スロットルレバー<br>ストップスイッチ | 機能確認<br>機能確認                   | —<br>— |
| 毎週      | 点火プラグ<br>(スパークプラグ)   | チェック、必要な場合は交換                  | 27     |
| 50 時間毎  | エンジンオイル              | 交換（初回交換は 20 時間運転後に行ってください）     | 24     |
| 3 ヶ月毎   | 燃料フィルタ               | 清掃、交換                          | 27     |
| 200 時間毎 | 燃料パイプ                | 交換                             | ※ 1    |
|         | 吸・排気弁の隙間             | 調整                             | ※ 1    |
|         | エンジン                 | オーバーホール                        | ※ 1    |
|         | オイルチューブ              | 点検                             | ※ 1    |
| 2 年間毎   | 燃料タンクキャップ            | 交換                             | 17     |
| 休業休止時   | 燃料タンク                | 空にする                           | —      |
|         | キャブレター               | エンジンを運転し続け燃料を空にする              | —      |

※ 1…200 時間点検項目はお買い上げの販売店、またはお近くの当社営業所へお申し付けください。

# 点検と整備

## 1. エンジンオイルの交換

- ・ エンジンオイルが汚れていると、摺動部や回転部の寿命を著しく縮めます。交換時期、オイル量を守りましょう。

### ⚠ 注意

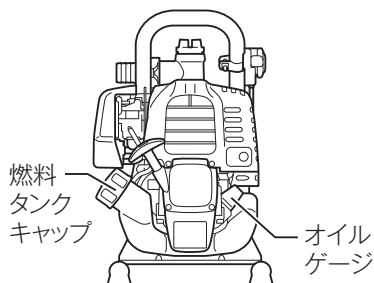
エンジン停止直後はエンジン本体の温度や油温が高くなっています。十分に冷えてからオイル交換を行ってください。火傷をする恐れがあります。また、停止直後はオイルケース内にオイルが戻りきらないため、オイルの入れ過ぎの原因になります。オイル量が上限を超えますとオイル漏れによる汚損や白煙の原因となります。

< 交換時期 > 初回 20 時間運転、その後 50 時間運転毎

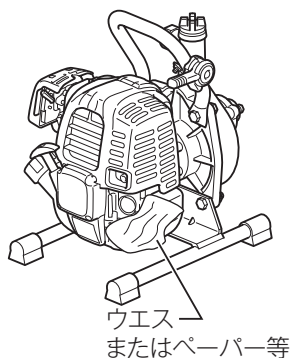
< 推奨オイル > API 分類 SF 級以上の SAE10W-30 オイル（自動車用 4 ストロークエンジンオイル）を使用してください。

交換に際しては、次の要領で行ってください。

- ①燃料タンクキャップが締め付けられていることを確認します。

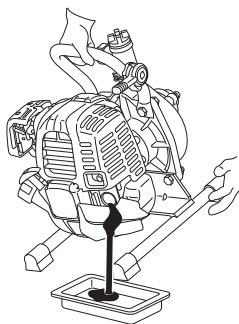


- ②オイルゲージをはずします。このとき、オイルゲージにゴミがつかないように場所に置いてください。
- ③ウエスまたはペーパー等をオイル注入口付近に差し込みます。

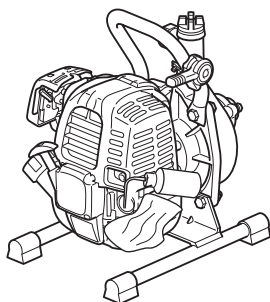


## 点検と整備

- ④本機を注入口側に傾け、オイルを抜きます。オイルは容器などに受けてください。



- ⑤エンジンを水平にし、オイル注入口の口元まで新しいオイルを注入します。注入のときはオイルボトルを使用してオイルを注入してください。
- ⑥注入後、オイルゲージがゆるまないように確実に締めてください。締め付けがゆるいとオイルが漏れることがあります。



### エンジンオイル交換のポイント

交換後のエンジンオイルはゴミの中や地面、排水溝などに捨てないでください。オイルの処理方法は、法令で義務付けられています。法令に従い適切に処理してください。不明な点はオイルをお買い上げになったお店にご相談の上処理してください。

オイルは使用しなくても自然に劣化します。定期的に点検、交換を行ってください。(6ヶ月に1回は新しいオイルと交換)

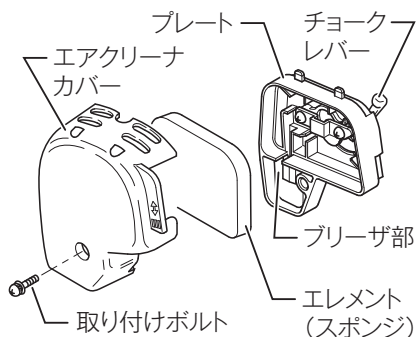
## 2. エアクリーナの清掃

### ⚠ 警告

火気厳禁

《清掃・点検時期》 毎日（10 時間運転毎）

- ・ エアクリーナカバーの取り付けボルトをはずします。
- ・ カバー下側を引っ張るようにして、エアクリーナカバーをはずします。
- ・ チョークレバーを全閉側にし、キャブレターにホコリなどが入るのを防ぎます。
- ・ エlement（スポンジ）にオイルが付着している場合は、固く絞ってください。
- ・ 汚れがひどい時は、Element（スポンジ）部分を取りはずし、ぬるま湯または水で薄めた中性洗剤で洗い、完全に乾かします。
- ・ Elementはよく乾かしてから組み付けてください。乾燥が不十分ですと始動困難の原因となります。
- ・ エアクリーナカバーとプレートとのブリーザー付近についたオイルをウエス等で拭き取ります。
- ・ 掃除が終わり次第、エアクリーナカバーを取り付け、取り付けボルトで締め付けます。（取り付ける場合は、上側の爪をはめ込んでから下側の爪をはめ込んでください。）



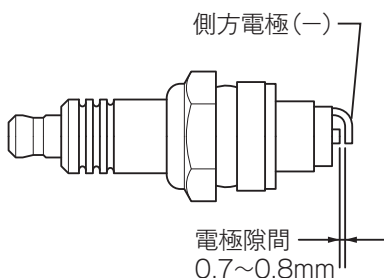
## ⚠ 注意

作業環境によってエレメントに付着するホコリが多い場合は、一日に数回掃除してください。

- ・ エレメントにオイルが付着したまま運転を続けると、エアクリーナ内のオイルが外に垂れ、オイル汚れの原因になります。

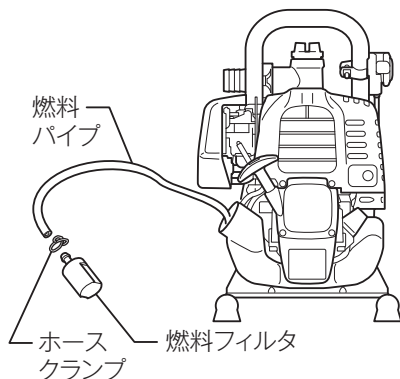
### 3. 点火プラグ（スパークプラグ）の点検

- ・ スパークプラグの取りはずしや取り付けには付属のボックスレンチを使ってください。
- ・ スパークプラグの2電極間（図参照）は、0.7～0.8mmです。この間隔が広すぎたり狭すぎたりする場合には、正しく調整します。
- ・ スパークプラグにカーボンが溜まり、汚れている場合には完全に掃除するか交換します。
- ・ 交換に際して、NGK CMR6Aをご使用ください。



### 4. 燃料フィルタの清掃

- ・ 燃料フィルタが目詰まりすると始動困難になり、エンジンの回転が上がらない場合があります。
- ・ 燃料フィルタは次の要領で定期的にチェックしてください。
- ・ 燃料タンクキャップをはずし、燃料を抜き、燃料タンクを空にしてください。この時、燃料タンク内に異物が残っていないかを確認し、残っている場合はきれいに抜き取ってください。
- ・ 燃料フィルタを針金などを使い、給油口から引き出します。
- ・ 燃料フィルタの表面が汚れている場合はガソリンで汚れを落とししてください。汚れたガソリンは各自治体指定の方法で処理してください。燃料フィルタの汚れが著しいときは交換してください。
- ・ 燃料フィルタを燃料タンク内に戻し、燃料タンクキャップを確実に締め付けてください。交換についてはお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。



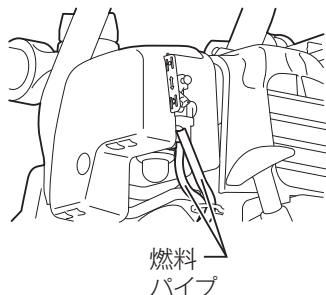
## 点検と整備

### 5. 各所ボルト、ナット、ビスの点検

- ・ ゆるんだボルト、ナット等は増し締めします。
- ・ 燃料やオイル漏れがないか点検します。
- ・ 破損部品は新品と交換し、安全を心がけてご使用ください。

### 6. 燃料パイプの交換

- ・ 使用頻度にかかわらず異常が認められた場合、燃料パイプは交換してください。(交換目安：約1年)
- ・ 燃料漏れは引火する危険があります。なお、点検時に漏れなどがある場合は即交換してください。



### 7. 各部の清掃

- ・ エンジンには、いつもきれいにしよう心がけてください。
- ・ シリンダーのフィン等にゴミが詰まると、焼き付きの原因にもなりますので、十分注意してください。

## 8. 故障の診断

|            |                                                       |
|------------|-------------------------------------------------------|
| ポンプが回らない   | エンジンが始動しない。<br>(次ページ参照。)                              |
| ポンプの吐出水量不足 | 吸水側で空気を吸い込んでいる。<br>(吸水側の各接続部から空気漏れのないよう確実に締め付けてください。) |
|            | エンジン出力低下。<br>(販売店にご相談ください。)                           |
|            | メカニカルシールの破損。<br>(販売店にご相談ください。)                        |
|            | 吸水揚程が高すぎる。<br>(水面からポンプまでの高さを低くしてください。)                |
|            | 吸水ホースが細い、または長すぎる。よじれている。<br>(太いホースを使う。短くする。よじれを直す。)   |
|            | 吐出側で水が漏れている。(漏れを止めてください。)                             |
|            | エンジンの回転が低い。<br>(販売店にご相談ください。)                         |
| ポンプが自吸しない  | 吸水側で空気を吸い込んでいる。<br>(吸水側の各接続部から空気漏れのないよう確実に締め付けてください。) |
|            | 呼び水が足りない。<br>(ポンプケーシング一杯に呼び水を入れてください。)                |
|            | ドレンプラグの締め付け不足。<br>(ドレンプラグをしっかり締め付けてください。)             |
|            | エンジンの回転が低い。<br>(販売店にご相談ください。)                         |
|            | メカニカルシールが空気を吸い込んでいる。<br>(販売店にご相談ください。)                |

## 点検と整備

### エンジンが始動しない時には

- ・ 修理を依頼される前に、まずご自身で次の点検を行ってください。点検された上で、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店または、当社営業所にご相談ください。

| 不具合の状況         | 原因（状態）          | 対 応                                                                                                                   |
|----------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| エンジンが<br>始動しない | プライマポンプの操作忘れ    | 7～10回押してください                                                                                                          |
|                | スタータロープの引き速度が遅い | 勢いよく引き出してください                                                                                                         |
|                | 燃料切れ            | 燃料を給油してください                                                                                                           |
|                | 燃料フィルタの目詰まり     | 清掃してください                                                                                                              |
|                | 燃料チューブが折れている    | 折れ目を直してください                                                                                                           |
|                | 燃料が古い           | 燃料が古くなると通常より始動が困難になります。新しい燃料と変えてください。<br>(約1ヵ月が目安です。)                                                                 |
|                | 燃料の吸い込み過ぎ       | チョークレバーを“開”にして、スロットルレバーを中速から高速にし、スタータハンドルをエンジンが始動するまで引いてください。それでも始動しない時は、スパークプラグをはずし、電極を乾燥させ、元通り組付けて、同様の始動操作を行ってください。 |
|                | プラグキャップが外れている   | 確実に取り付けてください                                                                                                          |
|                | スパークプラグの汚れ      | 清掃してください                                                                                                              |
|                | スパークプラグ電極の隙間の異常 | 隙間を調整してください                                                                                                           |
|                | スパークプラグのその他の異常  | 交換してください                                                                                                              |
|                | キャブレターの異常       | 点検整備を申し付けください                                                                                                         |
|                | スタータロープが引けない    | 点検整備を申し付けください                                                                                                         |



# 全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

| 事業所名    | 電話番号             | 事業所名    | 電話番号             | 事業所名     | 電話番号             |
|---------|------------------|---------|------------------|----------|------------------|
| 札幌支店    | (011) (783) 8141 | 東京支店    | (03) (3816) 1141 | 大阪支店     | (06) (6746) 7220 |
| 札幌営業所   | (011) (783) 8141 | 東京営業所   | (03) (3816) 1141 | 大阪営業所    | (06) (6746) 7220 |
| 旭川営業所   | (0166) (29) 0960 | 中野営業所   | (03) (3337) 8431 | 東大阪営業所   | (06) (6746) 7531 |
| 釧路営業所   | (0154) (37) 4849 | 足立営業所   | (03) (3899) 5855 | 南大阪営業所   | (0725) (46) 6611 |
| 函館営業所   | (0138) (49) 9273 | 大田営業所   | (03) (3763) 7553 | 奈良営業所    | (0742) (61) 6484 |
| 苫小牧営業所  | (0144) (68) 2100 | 江戸川営業所  | (03) (3653) 5171 | 橿原営業所    | (0744) (22) 2061 |
| 帯広営業所   | (0155) (36) 3833 | 多摩営業所   | (042) (384) 8411 | 和歌山営業所   | (073) (471) 4585 |
| 北見営業所   | (0157) (26) 9011 | 立川営業所   | (042) (542) 1201 | 田辺営業所    | (0739) (25) 1027 |
|         |                  |         |                  | 沖縄営業所    | (098) (874) 1222 |
| 仙台支店    | (022) (284) 3201 | 横浜支店    | (045) (472) 4711 | 兵庫支店     | (0794) (82) 7411 |
| 仙台営業所   | (022) (284) 3201 | 横浜営業所   | (045) (472) 4711 | 三木営業所    | (0794) (82) 7411 |
| 古川営業所   | (0229) (24) 0698 | 川崎営業所   | (044) (811) 6167 | 尼崎営業所    | (06) (6437) 3660 |
| 青森営業所   | (017) (764) 4466 | 平塚営業所   | (0463) (54) 3914 | 神戸営業所    | (078) (672) 6121 |
| 八戸営業所   | (0178) (43) 3321 | 相模原営業所  | (042) (757) 2501 | 姫路営業所    | (079) (281) 0204 |
| 盛岡営業所   | (019) (635) 6221 | 湘南営業所   | (0466) (87) 4001 |          |                  |
| 水沢営業所   | (0197) (22) 5101 | 静岡支店    | (054) (281) 1555 | 広島支店     | (082) (293) 2231 |
| 郡山営業所   | (024) (932) 0218 | 静岡営業所   | (054) (281) 1555 | 広島営業所    | (082) (293) 2231 |
| いわき営業所  | (0246) (23) 6061 | 沼津営業所   | (055) (923) 7811 | 福山営業所    | (084) (923) 0960 |
| 福島営業所   | (0243) (22) 1204 | 浜松営業所   | (053) (464) 3016 | 三原営業所    | (0848) (64) 4850 |
| 新潟支店    | (025) (247) 5356 | 甲府営業所   | (055) (276) 7212 | 岡山営業所    | (086) (243) 4723 |
| 新潟営業所   | (025) (247) 5356 | 金沢支店    | (076) (249) 5701 | 宇部営業所    | (0836) (31) 4345 |
| 長岡営業所   | (0258) (30) 5530 | 金沢営業所   | (076) (249) 5701 | 徳山営業所    | (0834) (21) 5583 |
| 山形営業所   | (023) (643) 5225 | 七尾営業所   | (0767) (52) 3533 | 鳥取営業所    | (0857) (28) 5761 |
| 酒田営業所   | (0234) (26) 3551 | 富山営業所   | (076) (451) 6260 | 松江営業所    | (0852) (21) 0538 |
| 秋田営業所   | (018) (863) 5205 | 高岡営業所   | (0766) (21) 3177 | 高松支店     | (087) (867) 6411 |
| 宇都宮支店   | (028) (634) 5295 | 福井営業所   | (0776) (25) 1911 | 高松営業所    | (087) (867) 6411 |
| 宇都宮営業所  | (028) (634) 5295 | 岐阜支店    | (058) (274) 1315 | 徳島営業所    | (088) (626) 0555 |
| 小山営業所   | (0285) (25) 5559 | 岐阜営業所   | (058) (274) 1315 | 松山営業所    | (089) (951) 7666 |
| 水戸営業所   | (029) (248) 2033 | 多治見営業所  | (0572) (22) 4921 | 宇和島営業所   | (0895) (22) 3785 |
| 土浦営業所   | (029) (821) 6086 | 松本営業所   | (0263) (85) 4751 | 高知営業所    | (088) (884) 7811 |
| 埼玉支店    | (048) (777) 4801 | 長野営業所   | (026) (225) 1022 | 福岡支店     | (092) (411) 9201 |
| さいたま営業所 | (048) (777) 4801 | 上田営業所   | (0268) (22) 6362 | 福岡営業所    | (092) (411) 9201 |
| 川越営業所   | (049) (222) 2512 | 飯田営業所   | (0265) (24) 1636 | 北九州営業所   | (093) (551) 3481 |
| 熊谷営業所   | (048) (521) 4647 | 名古屋支店   | (052) (419) 0561 | 飯塚営業所    | (0948) (26) 3361 |
| 越谷営業所   | (048) (976) 6155 | 名古屋営業所  | (052) (419) 0561 | 久留米営業所   | (0942) (43) 2441 |
| 前橋営業所   | (027) (232) 5575 | 豊橋営業所   | (0532) (46) 9117 | 佐賀営業所    | (0952) (30) 6603 |
| 高崎営業所   | (027) (365) 3688 | 岡崎営業所   | (0564) (72) 5150 | 長崎営業所    | (095) (882) 6112 |
| 両毛営業所   | (0276) (46) 7661 | 知多営業所   | (0569) (48) 8470 | 佐世保営業所   | (0956) (33) 4991 |
| 千葉支店    | (043) (231) 5521 | 一宮営業所   | (0586) (75) 5382 | 熊本支店     | (096) (389) 4300 |
| 千葉営業所   | (043) (231) 5521 | 東名古屋営業所 | (0561) (73) 0072 | 熊本営業所    | (096) (389) 4300 |
| 市川営業所   | (047) (328) 1554 | 津営業所    | (059) (232) 2446 | 八代営業所    | (0965) (43) 1000 |
| 成田営業所   | (0476) (73) 8101 | 四日市営業所  | (059) (351) 0727 | 大分営業所    | (097) (567) 3320 |
| 木更津営業所  | (0438) (23) 2908 | 伊勢営業所   | (0596) (36) 3210 | 宮崎営業所    | (0985) (26) 1236 |
| 柏営業所    | (04) (7175) 0411 | 京都支店    | (075) (621) 1135 | 鹿児島営業所   | (099) (267) 5234 |
|         |                  | 京都営業所   | (075) (621) 1135 | 沖縄営業所    | 大阪支店の欄をご覧ください。   |
|         |                  | 福知山営業所  | (0773) (23) 7733 |          |                  |
|         |                  | 大津営業所   | (077) (545) 5594 | 関東物流センター | (048) (771) 3451 |
|         |                  | 彦根営業所   | (0749) (22) 6184 | 関西物流センター | (0725) (46) 6715 |

株式会社 マキタ

MEW1050H-MJ-0412

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)